

Haunted Mansion

～1000 人目の幽霊

ディズニーランドにある大人気アトラクション「ホーンテッドマンション」が大好きすぎて、クトゥルフ神話 TRPG に落とし込んでしまいました。映画は見ていませんのであしからず。

幽霊が出る空き家と噂の山の中の豪邸に足を運んでしまった PC 達。

彼らは一体この屋敷から出ることはできるのか——！

本作は、「株式会社 KADOKAWA」が権利を有する『クトゥルフ神話 TRPG』『新 クトゥルフ神話 TRPG』の二次創作物です。

本作は、ディズニー「ホーンテッドマンション」を基にした二次創作物です。

実在する企業、団体、人物及び地名等とは一切関係がございません。

ゲームプレイ以外での複製、使用を禁止します。

製作者ホームページ以外での販売、再配布を禁止します。

1. 導入

なんか幽霊が出る噂の屋敷に行くことになったよ(そういう流れになった)。場所はアメリカ・カリフォルニア州オレンジ郡にある。(どうしても他国を舞台にする場合は 1671 年にオランダ人が建てたいわくつきの山奥の豪邸っていう設定であればいいです)

<オカルト>または<歴史>に成功すれば、「この屋敷ではかつて大量自死事件が発生しており、それ以降幽霊屋敷と呼ばれ、人が寄り付かなくなっている。」ということを知っている。

静かすぎるこの屋敷の玄関には鍵がかかって開かないが、使用人用の勝手口には鍵がかかっておらず、中に入ることができる。中央の廊下に入ると、扉はひとりで閉まる。そしてどこからか男性の声が聞こえる。「紳士ならびに淑女の諸君。私はゴーストホスト。我が屋敷『ホーンテッドマンション』へようこそ。扉ひとつない部屋で身の毛もよだつ不気味な響きが館の中に広がる……諸君の恐れおののく姿を見て、彼らは喜びの笑みを浮かべているのだ」(入口でのセリフを多少改変しています。)

入ってきた扉はもう開くことはない。探索者が「周囲を観察する」行動をとると、<聞き耳>成功で「男性の声は玄関にある痩せた男性の肖像画から聞こえている」ことがわかる。肖像画を詳しく調べた場合、肖像画自体には特に問題がないことがわかるが、外すことはできず、手が埃で汚れてしまう。そうこうしているうちに、だんだん絵の肖像画の人物がだんだんと年老いていき、最終的には肖像画は骸骨になる。この屋敷は明らかにおかしい。肖像画を見ていた探索者は<正気度>ロール 0/1d2

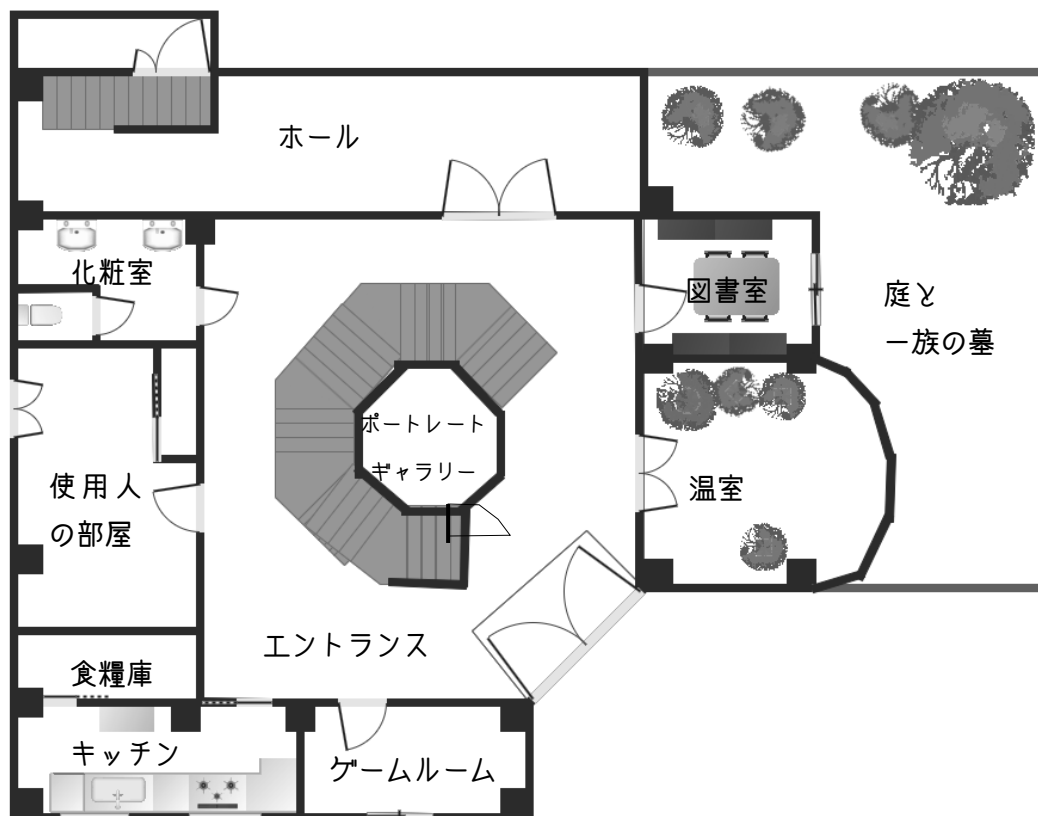
*KP 情報

肖像画の人物は「マスターグレイシー」という男性。自らを「ゴーストホスト」と名乗っている

す。探索者が話しかければ、ある程度受け答えはしますが、この屋敷については詳しく答えないこと、あくまで客人としてもてなそうとします。

また、この建物内で誰かの HP が 0(死亡状態)になった場合、生贄は十分に揃ったとされ、シュブニグラス(の一部)がこの屋敷の庭に召喚される。

2. 1階・庭



● ポートレートギャラリー

4つの絵が壁に飾っており、その絵の脇に燭台が灯っている。絵の内容は「美しい女性」「初老の女性」「小太りの男性」「腕を組む男性」の肖像画のようだ。この部屋にしばらくいると、4つの絵は縦に伸びていくが、絵と天井および床との間隔は変わっていない。果たして天井が上がっているのか、床が下りているのか。〈正気度〉ロール 0/1d2。絵は最終的に「傘を差した美しい女性がワニのいる河の上で綱渡りをしている絵」「初老の女性が GEORGE と書かれたお墓の上で微笑んでいる絵」「小太りの男性が DYNAMITE と書かれた樽の上に立っている絵」「腕を組む男性は 3 人肩車の一番上で、一番下の男性は「QUICK SAND(流砂)」と書かれた看板を不安そうに見つめている絵」となる。

探索者が「部屋全体を調べる」行動をとると、床に何かが書かれた跡が見える。ほとんど消えていてわからない。

探索者が「天井を仰ぐ」行動をとると、何かがぶら下がっていることがわかる。〈目星〉成功で

人型のものであることがわかる。〈正気度〉ロール 0/1d3

- **図書室**

〈アイデア〉ロールに成功すると、4体のゴーストが見える。ここにいるゴーストは「ゴーストライター」と呼ばれ、机に座って物書きをしている。この4人のゴーストには話しかけることができ、欲しい本があれば位置を教えてくれる。

ゴーストライターについて

屋敷について尋ねる→ここは彼らの仕事場で、雇い主である館の主人「ゴーストホスト」から、超常現象や「死」「霊」などに関連するものを調べている。

館の主人について尋ねる→彼は交霊術に傾倒しており、それに関する本は彼の書斎にある。探索者が「本棚を観察する」行動を行う場合、〈目星〉成功で、ここにある本はフィクション小説が多く、オカルト的展開で有名なものが多く含まれる。魔導書の類はここにはない。

- **温室**

空き家のはずなのに、植物は美しく育っている。〈アイデア〉成功で 1d6 人のゴーストメイドが見える。ガラス張りの壁からは墓地が見える。ここから庭に出ることができる。探索者が「温室を探索する」行動を行うと、植木に交じって棺があり、がたがたと音を立て続けている。〈正気度〉ロール 0/1d3

- **キッチンと食糧庫**

調理器具は大体揃っている。食器棚を調べる行動を行うと、皿の模様が屋敷の見取り図になっていることがわかる(屋敷の地図を手に入れる)

- **ゲームルーム**

ビリヤード台があり、キューや球が宙に浮いている。〈アイデア〉成功でゴーストが見えるので、〈正気度〉ロールはないが、失敗した場合は異様な光景を目にして〈正気度〉ロール 0/1d3

- **庭と墓地**

グレイシー一族に関連する人物の墓標がある家庭墓地。ちょっとした小屋がある。小屋を訪ねると、一人の生きている男性がいる。痩せた犬を連れている。

お墓を調べる行動をとると、一つの墓標に書かれていた文章が気になる。

Dear sweet Leota, Beloved by all In Regions beyond now, but having a ball
(親愛なるかわいいレオタ、今もあの世でみんなに愛されて、元気でいてね)

墓地の管理人について

墓地の管理人になったのはつい最近。雇い主は「ゴーストホスト」となっているが、その姿を見たことはないという。屋敷から現れた探索者に対して恐怖感、嫌悪感を抱いている。一緒に行動はしたがない。

屋敷について尋ねる→中に入ったことはない。屋敷については古くから存在していることは知っている。入りたいとは思わないし、中に興味もない。

レオタの墓標について尋ねる→雇われた時には既にあった墓標。ここにある墓標の中で一

番新しいものであるらしい。レオタについては知らないが、おそらく主人の妻であろうと思っている。

痩せた犬について尋ねる→管理人の飼っている犬。たまに屋敷に向かって吠えることがある。探索者が借りようとするれば貸してくれるだろうが、犬は屋敷に入ろうとせず、おびえて動かない。無理やりにも連れていこうとすると、管理人は怒って犬をひったくる。それ以降は小屋から出てこなくなる。

- **階段**

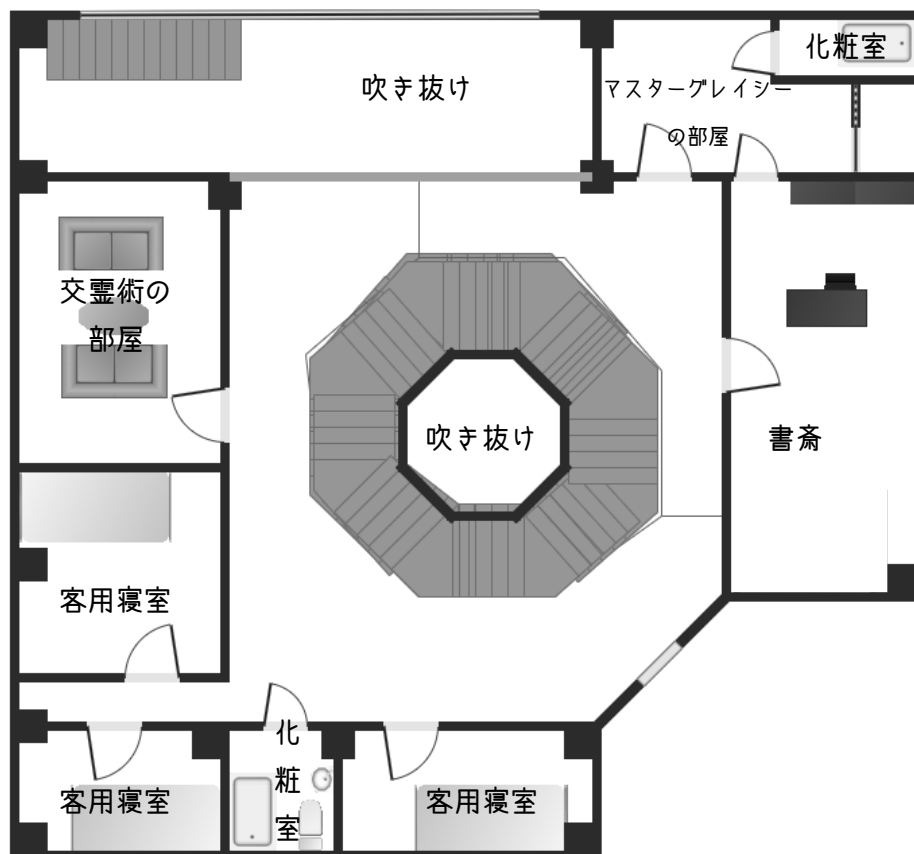
2階3階へ続く螺旋階段。いくつかの絵が掛けられている。絵を観察すると、絵のモチーフは蛇の髪をした女性や幽霊船など気味の悪いものばかり。〈正気度〉ロール 0/1

- **ダンスホール**

〈アイデア〉ロール成功で多くのゴースト達がダンスや食事を楽しんでいる。ロール失敗の探索者はひとりでに鳴るオルガン、カチャカチャと音を立てる食器、不自然に揺れるシャンデリアを見て、怪奇現象を理解する。〈正気度〉ロール 0/1d3。

幽霊に話しかけても、踊ること、食べることに夢中で相手にしてもらえない。食器の上にある食事はすでに存在しないが、一心不乱に食べ続けている。

3. 2階



*KP 情報

実質この部屋でイベントのある部屋は交霊術の部屋しかありません。

● 書斎

机や本棚があります。ひとりで動くことはなく、静かな部屋です。「部屋を調べる」行動をした場合、〈目星〉成功で、本棚からとあるメモを見つけます。

メモの内容→シュブニグラスの招来・退散の呪文が書かれている。

● 主人の寝室

ベッドがあります。

● 交霊術の部屋

扉前で〈聞き耳〉ロールを行うと、女性の声が聞こえます。

部屋に入ると至る所に円形に並んだ椅子の中央に置かれた机に水晶玉が置いてあります。目星などをせずとも、水晶玉の中に女性の頭があり、その中から声が聞こえる。普通ではありえない光景を見た探索者は〈正気度〉ロール 0/1d3。

水晶玉の女性は常に何かの呪文を唱えている。探索者が話しかけると詠唱を中止して、話を聞いてくれる。

水晶玉の女性は「レオタ」という。彼女は「生贄になりたくなければ、この屋敷から早急に出ていきなさい」と言う。探索者が帰れない旨を伝えると、彼女は少し考えてから、「私に協力してくれないか」と探索者に提案します。

マダム・レオタについて

彼女のことについて、〈オカルト〉や〈知識〉ロールに成功すると、探索者は以下のことを知っています。

「交霊術師として有名な人物の一人に『レオタ』という名前の女性がいる。彼女はグレイシー一族に取り入れた後、行方が知れなくなっている。この屋敷が幽霊屋敷と呼ばれるようになった所以として、彼女が殺人鬼で、この屋敷の人物すべてを殺していたのではと考えられている」

上記の事件について尋ねる→「あれはとても悲惨な事件だった。私には止められなかった」

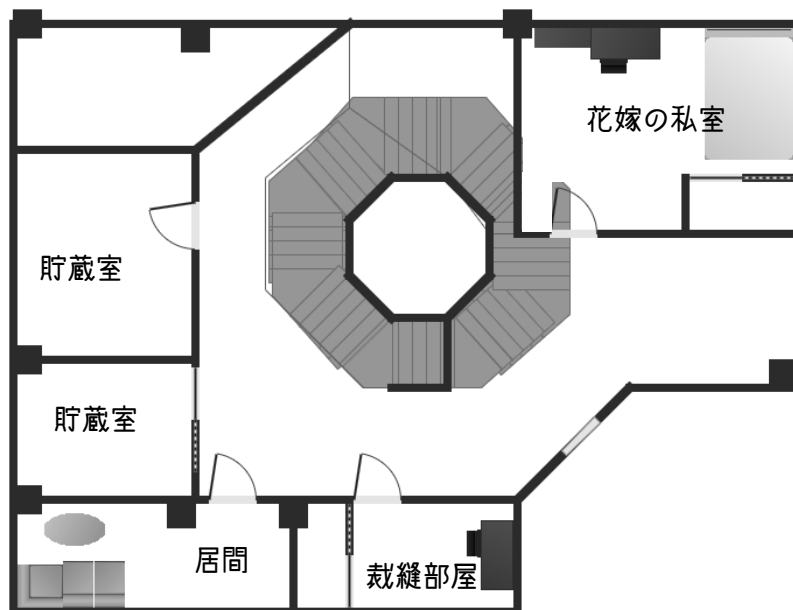
何をしているのか尋ねる→「神の使いを呼び出す呪文を唱えている。しかし今まで一度も成功していない。どうやら生贄が 1000 人必要らしいが今のままでは足りないらしい。こんなことはしたくないが、ゴーストホストには逆らえない。

「神の使い」とは尋ねる→最後に行った交霊で召喚したもの。その姿はとてもおぞましい姿で参加者の全てを殺しつくした。ただひとり、マスターグレイシーのみが喜んでいたという。〈正気度〉ロール 0/1d2

なぜ水晶玉の中にいるのか尋ねる→〈あれ〉から身を守るためにはこれしかなかった。完全に死んだわけではないが、動けないためとても苦労している。

ゴーストホストについて尋ねる→彼の生前の名前は「マスターグレイシー」この屋敷の主人で、私を大層気に入ってくれた。ここに住むようになってからいくつかの魔導書を読んだが、どれも知らないものばかりだった。

4. 3階



- **花嫁の私室**

部屋を見回すと、物置のような、旅行鞆や季節外れの衣服が多く置いてあることがわかります。必要最低限の家具と花嫁衣裳を着た幽霊がいます(全員が見ることができます)。名前を聞くと「レオタ」と名乗ります。

花嫁の幽霊(リトル・レオタ)

マダム・レオタの一人娘で、交霊術の手伝いをしています。〈オカルト〉や〈知識〉ロールに成功すると、探索者は以下のことを知っています。

「マダム・レオタの娘で、交霊の手伝いをしていた。幼いころはいたずら好きで、客をからかっていた。大人になってからは婚約をした相手が次々と不審死を遂げるため、気に入らない相手だった場合呪い殺しているのではという噂もたつほどであった。最後に婚約したのはマスター・グレイシーで、大量自死事件の後遺体は発見されなかった。」

屋敷について尋ねる→「999 人の幽霊がいるお屋敷なの。燃えるように熱く、凍えるように寒く嬉しいくらい住みにくいけど、もし住みたいなら死亡診断書を持ってきてね」

マスター・グレイシーについて尋ねる→「変な人だけど、いい人よ。私の結婚相手なの」

マダム・レオタについて尋ねる→「私の母。あまり評判は良くないけど、私に対しては良くしてくれたわ」マダム・レオタを連れている場合、マダム・レオタから「彼女も屋敷の外に連れて行ってほしい」と言われる。

- **貯蔵室**

木箱がたくさん置いてある。中身はほとんどが虫やネズミに食い荒らされており、使い物にはならないが、写真や人形のようなものが置いてあったことがわかります。

*レオタと出会った後にここを探索した場合、人形がレオタになんとも似ていると感ずます。

- **裁縫部屋**

年代物のミシンや糸車などの古い裁縫道具が置かれている。ある程度はメンテナンスをすれば再度使用ができそうです。(使用する場合に技能は必要ない)

- **居間**

ローテーブル、ソファー、棚が置いてある。特にめぼしいのはなさそうです。

- **隠し部屋**

入ることはできない。壁を壊すなどで無理やり入った場合、(1d10×2)匹のネズミと戦闘。

5. エンディング

条件	<SAN>回復量
マダム・レオタを連れて脱出	1D3
リトル・レオタを連れて脱出	1D2
生きて脱出	1D8

- **生きて脱出**

- マダム・レオタを連れて脱出する場合、マダム・レオタはエントランスの封印を解いてくれます。

- リトル・レオタを連れて脱出した場合、建物の外でリトル・レオタがお礼を言います。

「ありがとう。あなた(たち)のお陰で私(達)は長い呪縛から抜け出すことができました。でも、私たちはすでに死んでしまっているから、じきにお迎えが来るでしょう。ここまでしてくれたのに、何もお礼ができなくてごめんなさい。ごきげんよう！ 死後の世界で待っています！」

それ以降、彼女の姿は見えなくなります。

探索者が脱出したのち、建物の取り壊しが決定したニュースを知る。ふと、探索者の耳にゴーストホストの声がどこからか聞こえてくる。

「私たちの宴はあなたが戻ってくるまで続くのです……」

《SCENARIO CLEAR》

- **ロスト探索者/全滅**

長い夢を見ているような気がする。何かを考えていたようだが何も思い出せない……。思い出す必要はない。ここで永遠のパーティを続けるのだから……

《CHARACTER LOST》

6. 登場人物データ

マダム・レオタ

言わずと知れた水晶玉のおばさん。亡霊。交霊術師。

STR	0	APP	15	HP	Null
CON	0	SIZ	1(直径 25 cmくらい)	MP	21
POW	21	INT	16	SAN	Null
DEX	0	EDU	12		
オカルト	85%	ラテン語	60%		
心理学	65%	芸術(テーブルマナー)	31%		
天文学	42%	目星	76%		
精神分析	60%	クトゥルフ神話	15%		

リトル・レオタ(ゴーストホステス)

死してなお希望を持つ少女。亡霊。

STR	0	APP	15	HP	Null
CON	0	SIZ	0(見た目 10)	MP	15
POW	15	INT	13	SAN	Null
DEX	0	EDU	7		
オカルト	65%	芸術(テーブルマナー)	31%		
図書館	55%	言いくるめ	60%		
ラテン語	51%	追跡	50%		

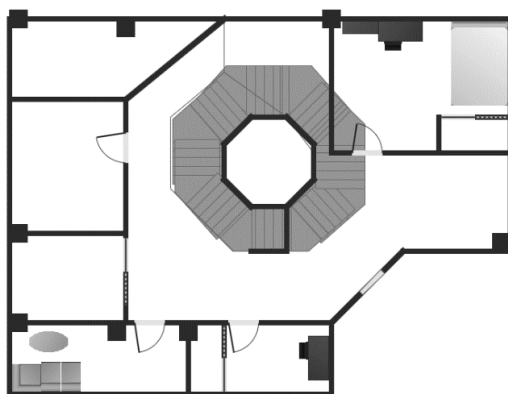
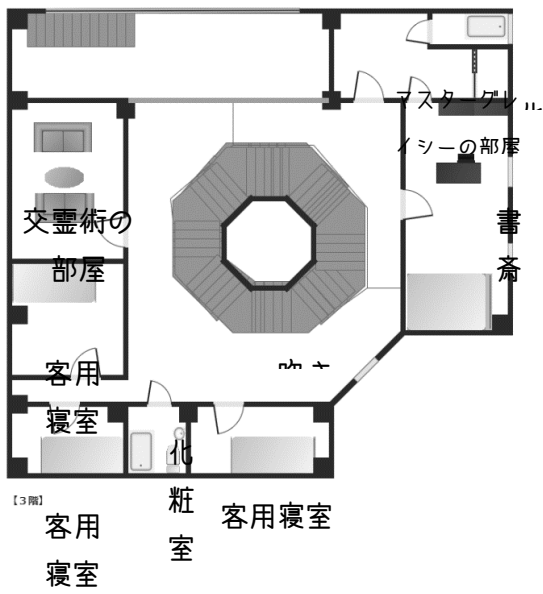
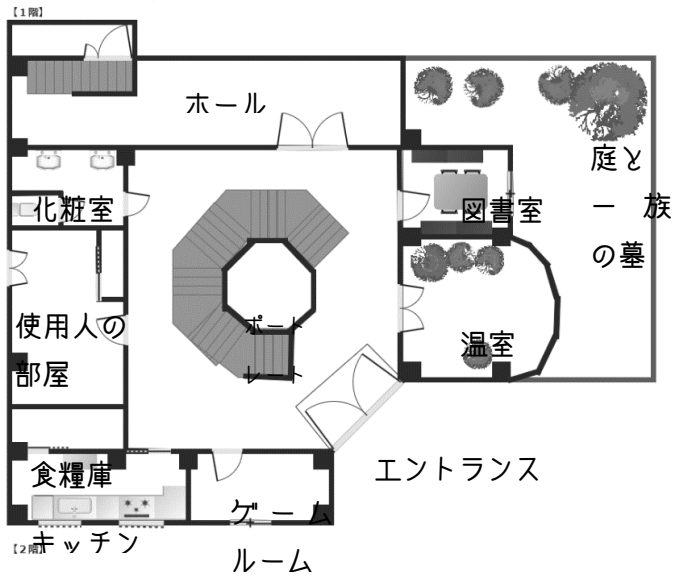
マスターグレイシー(ゴーストホスト)

死してなお野望を持つもの。亡霊。

ステータスはすべてフレーザーで、特に意味はないです。

STR	0	APP	12	HP	Null
CON	0	SIZ	0	MP	12
POW	12	INT	15	SAN	Null
DEX	0	EDU	16		
信用	95%	隠れる	60%		
言いくるめ	86%	ナビゲート	50%		
ラテン語	54%	ショットガン	60%		
ドイツ語	54%	クトゥルフ神話	40%		
フランス語	54%	博物学	40%		

7. MAP



8. 使用フォント

Mearest

しねきやぶしょん

MSP ゴシック